

毎週日曜発行
2022 12/4

こども新聞 週刊がほピョンプレス

がほピョンプレス



河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

みんな 子ども だった!?

32

みんなは、空を飛ぶ
と思ったことはある？

今年7月の「鳥人間コンテスト」人力プロペラ機部門で優勝した東北大人力飛行部「ウインドノーツ」を率いた前部長・原田史織さん(21)は、どんな子どもだったのかな。

スポーツが好きで、小学生のときは水泳、中学時代はバスケットボールに打ち込みました。とにかく負けず嫌い。水泳は毎月タイムでクラス分けされるのですが、上に上

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

原田 史織さん

(21歳・東北大人力飛行部ウインドノーツ前部長)

テスト飛行した機体の前に立つ原田さん(前列右)



はらだ・しおり 2001年、神奈川県茅ヶ崎(ちがさき)市生まれ。県立鎌倉(かまくら)高を卒業し20年、東北大工学部入学。化学・バイオ工学科専攻(せんこう)。

出合いは、高校2年。偶然テレビで東北大学の飛行を見て「かっこいい」と思った。調べたら、東北大は大学チーム3強の一つで、東日本大震災があった2011年大会も優勝していた。逆境を乗り越える力がある常に強いチームと知りました。志望大学を神奈川県内の医療系から東北大に変えました。両親は驚き、東北大の所在地から調べていましたね。



圧倒的に少なかった。でも、元来の負けず嫌いを発揮し「やるからには勝つ」という強い思いで、2年生の秋に代を引継ぎ、自分たちが中心となって機体の製作を始めました。設計のコンセプトは「烽」。16年以降の優勝を目指し復活の「のろし」を上げるという意味です。パイロットが長く長くこけて、完全燃焼できる機体を、毎日毎日、徹夜もいとわず総力戦で作りました。

高校は、校舎から海が見えるという理由だけで選びました。思い付きで行動しても、その先で出合ったものが宝物になります。

がれなかったときは、悔しくて泣いていました。両親は「要領は悪いけれど頑張り屋」と言います。自分なりに頑張り、

水泳大会で優勝したり、バスケットボールも神奈川県大会ベスト16になりました。

負けず嫌い 発揮 記録更新

1浪し、憧れの人力飛行部に入りました。1番大きく目に付く翼の製作班に入りましたが、新型コロナウイルスの影響で、20年は大会中止。21年は出場を辞退しました。活動休止期間もあり、先輩から技術を学ぶ機会が

結果は、チーム記録を更新する36・868キを飛び優勝。「偉大な先輩を超え自分たちが一番強い」と思った瞬間、とてもワクワクしました。設計、製作、パイロット、天候、全てがうまくいきました。伝統ののっとり、着水した瞬間に引退。満足感でいっぱいです。(写真は原田さん提供)

今週の注目ニュース

◇10日(土) ノーベル賞授賞式
スウェーデンの科学者アルフレッド・ノーベルの遺言により創設されたノーベル賞は、彼の命日に授賞式が行われるよ。今年は残念ながら、日本人の受賞者はいなかったね。

きょうの紙面

- 2面 サイエンス
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 聞いて学べる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 かほく防災記者 1期生レポート